

**製品名:** リン酸化 CaMKII (Thr287) マウスモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMM84832

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100
分子量	/

## 抗原情報

遺伝子名	Phospho-CaMKII (Thr287)
別名	Calcium/calmodulin dependent protein kinase II; KCC2A
遺伝子 ID	816/817/818
SwissProt ID	Q13554/Q13555/Q13557
免疫原	KLH に結合した合成ペプチド。

## 背景

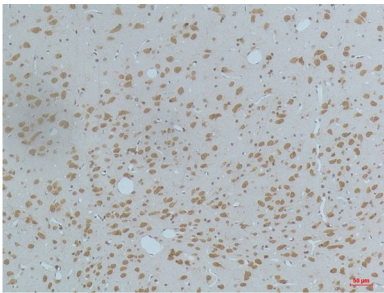
CaM キナーゼ II (CAMK2) は、中枢神経系における主要なキナーゼであり、長期増強および神経伝達物質の放出に関与している可能

性がある。興奮性シナプスにおける NMDAR シグナル伝達複合体の構成因子であり、AMPA の NMDAR 依存性増強およびシナプス可塑性を制御する可能性がある。

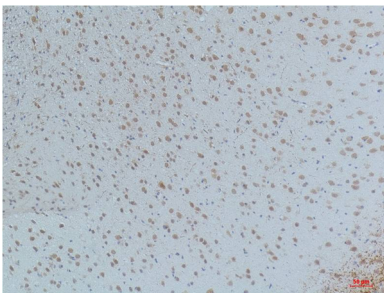
## 研究分野

-

## 画像データ



リン酸化 CaMKII (Thr287) 抗体を使用したパラフィン包埋ラット脳組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



リン酸化 CaMKII (Thr287) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。